



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社 不二家

上場取引所 東

コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹

TEL 03-5978-8100

定時株主総会開催予定日 2026年3月25日

配当支払開始予定日

2026年3月26日

有価証券報告書提出予定日 2026年3月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	119,558	8.7	2,840	23.6	3,609	15.3	2,031	21.4
2024年12月期	109,984	4.2	2,298	67.2	3,130	48.7	1,672	72.5

(注) 包括利益 2025年12月期 4,032百万円 (16.2%) 2024年12月期 3,471百万円 (40.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	78.82	—	3.4	3.7	2.4
2024年12月期	64.90	—	2.9	3.6	2.1

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 676百万円 2024年12月期 627百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	106,366	66,104	57.0	2,352.38
2024年12月期	90,466	63,067	64.0	2,246.82

(参考) 自己資本 2025年12月期 60,634百万円 2024年12月期 57,913百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	3,779	△10,856	10,866	10,861
2024年12月期	4,260	△6,905	1,746	7,016

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	773	46.2	1.4
2025年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	773	38.1	1.3
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		36.8	

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	2.3	700	△41.8	800	△53.1	300	△64.1	11.64
通期	125,000	4.6	3,200	12.6	3,650	1.1	2,100	3.4	81.47

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期	25,784,659 株	2024年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2025年12月期	9,053 株	2024年12月期	9,000 株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	25,775,611 株	2024年12月期	25,775,776 株

(参考) 個別業績の概要

2025年12月期の個別業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期	92,430	12.4	1,530	175.2	1,775	57.5	1,331	42.7
2024年12月期	82,226	6.3	556	—	1,127	474.1	933	165.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	51.67	—
2024年12月期	36.20	—

売上高は、既存品の拡販、新製品の展開及び新規販路への取り組みなど様々な施策を実行した結果、924億30百万円(対前期比112.4%)と、前期の実績を上回りました。

利益面では、洋菓子事業については、一部製品の規格及び価格の見直しに加え、生産ラインの能力増強による生産性の向上、省人化や生産アイテムの集約による労務費の削減を実施したことや、菓子事業については、原材料価格の大幅な高騰を、設備投資を行った生産ラインの有効活用による主力製品の増産・販売拡大でコスト増を吸収し、営業利益は15億30百万円(対前期比275.2%)、経常利益は17億75百万円(対前期比157.5%)、当期純利益は13億31百万円(対前期比142.7%)となりました。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期	80,826	44,161	54.6	1,713.30
2024年12月期	65,844	43,437	66.0	1,685.20

(参考) 自己資本 2025年12月期 44,161百万円 2024年12月期 43,437百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17
4. その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人客数の回復が見られたものの、物価上昇の影響が継続し、個人消費の回復は緩やかな状況にとどまりました。菓子業界においては、カカオ豆をはじめとする原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇等のコスト増加要因が重なり、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況下にあつて当社グループは、安定的な商品供給に注力するとともに、商品構成の見直しや生産効率の向上、コスト抑制への取り組みを継続しつつ、お客様により良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、1,195億58百万円（対前期比108.7%）、営業利益は28億40百万円（対前期比123.6%）、経常利益は36億9百万円（対前期比115.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億31百万円（対前期比121.4%）となり、増収増益とすることができました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当連結会計年度(第131期)		前連結会計年度(第130期)		対前年 同期比	増減
		2025年1月1日から 2025年12月31日まで		2024年1月1日から 2024年12月31日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業		百万円	%	百万円	%	%	百万円
	洋菓子	25,506	21.3	24,755	22.5	103.0	751
	レストラン	6,332	5.3	6,129	5.6	103.3	203
	計	31,838	26.6	30,884	28.1	103.1	954
製菓事業	菓 子	80,244	67.1	71,286	64.8	112.6	8,957
	飲 料	3,823	3.2	4,391	4.0	87.1	△567
	計	84,067	70.3	75,677	68.8	111.1	8,389
	その他	3,652	3.1	3,422	3.1	106.7	229
合 計		119,558	100.0	109,984	100.0	108.7	9,573

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子事業においては、洋菓子チェーン店にて「プレミアムショートケーキ」をはじめとする主力製品及び旬のフルーツを使用した『ショートケーキ12の色物語』の販売に注力し、売上の向上につとめました。クリスマスセールにおいては、期間限定商品「Smile Switchクリスマス」の店頭・WEB予約に加え、小物ケーキの予約訴求やセール当日の品揃え強化をはかった結果、販売は好調に推移いたしました。既存店については、VI（ビジュアルアイデンティティ）に基づき当連結会計年度中に49店舗の改装を実施いたしました。また、「ペコちゃん milky ドーナツ」の展開や催事への出店を積極的に行い、新規顧客の獲得をはかりました。なお、当連結会計年度末における不二家洋菓子店の営業店舗数は、不採算店や後継者不足等によるフランチャイズ店の閉鎖等により850店（前期差42店減）となっております。

広域流通企業との取り組みにおいては、外食チェーンやコンビニエンスストア向けに、生産性の高い製造ラインを活用した製品や、当社の技術力を活かした製品を提案いたしました。海外輸出では、アメリカ市場向けに新製品を投入し、販売は好調に推移いたしました。

レストラン事業では、「秋のごちそうフェア」、「冬フェアメニュー」と称した期間限定フェアを実施し、集客の拡大につとめた結果、売上は前期の実績を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度における洋菓子事業全体の売上高は318億38百万円（対前期比103.1%）となりました。利益面では、卵等の原材料価格の高騰や労務費の上昇により依然として厳しい事業環境が続きましたが、一部製品の規格及び価格の見直しに加え、生産ラインの能力増強による生産性の向上、省人化や生産アイテムの集約に

よる労務費の削減に取り組んだ結果、増益とすることができました。

＜製菓事業＞

当社単体の菓子事業においては、『ホームパイ』のブランド強化に向けて、タレントを起用した販売促進活動を展開し、これに合わせて売場では『カントリーマアム』との同時陳列により訴求力を高めることで、大袋ビスケット製品群の販売を強力に推進いたしました。『ルック』においては、素材にこだわったワンランク上の製品「プレミアムルック」を発売し、テレビコマーシャルやデジタル広告配信等を積極的に展開した結果、売上は好調に推移いたしました。『ハート』シリーズにおいては、既存製品に加え、新たにビスケット製品「ハートクッキー（バターアーモンド）」を投入し、売上拡大をはかりました。また、当社の主力飲料ブランド『ネクター』や『レモンスカッシュ』を活用したグミ製品をシリーズ化して発売するなど、成長著しいグミ市場での拡売につとめました。上記の結果、単体の菓子事業の売上は前期の実績を上回りました。

飲料事業においては、主力製品の価格改定の影響により、売上については前期の実績を下回りましたが、利益面では改善をはかることができました。

不二家（杭州）食品有限公司においては、中国国内の景気低迷の影響が大きく、売上は前期の実績を下回りました。現在は、主力製品「ポップキャンディ」やグミ製品の拡販をはかるべく新規販路の開拓に取り組むなど、売上の回復につとめております。

以上の結果、当連結会計年度における製菓事業全体の売上高は840億67百万円（対前期比111.1%）となりました。利益面では、原材料価格の大幅な高騰が続きましたが、設備投資を行った生産ラインの有効活用による主力製品の増産・販売拡大でコスト増を吸収し、増益とすることができました。

＜その他＞

ライセンス事業、不動産賃貸事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は36億52百万円となりました。

（２）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。

流動資産は429億20百万円で、主に現金及び預金の増により前連結会計年度末に比べ75億14百万円増加いたしました。固定資産は634億46百万円で、主に有形固定資産の増により前連結会計年度末に比べ83億85百万円増加いたしました。この結果、総資産は1,063億66百万円で前連結会計年度末に比べ158億99百万円増加いたしました。

また、流動負債は231億23百万円で、主に短期借入金の返済により前連結会計年度末に比べ13億32百万円減少いたしました。固定負債は171億38百万円で、主に長期借入金の新規約定により前連結会計年度末に比べ141億95百万円増加いたしました。この結果、負債合計は402億61百万円で前連結会計年度末に比べ128億62百万円増加いたしました。

純資産は661億4百万円で、主に利益剰余金や退職給付に係る調整額の増により前連結会計年度に比べ30億37百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は57.0%（前期は64.0%）となり、1株当たり純資産は2,352円38銭となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローにつきましては、当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて38億45百万円増加し、108億61百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、37億79百万円（前連結会計年度は42億60百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、108億56百万円（前連結会計年度は69億5百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は、108億66百万円(前連結会計年度は17億46百万円の獲得)となりました。これは主に長期借入金の新規約定によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
自己資本比率	68.5	65.6	67.3	64.0	57.0
時価ベースの自己資本比率	77.1	78.0	75.4	75.2	61.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.1	0.2	0.1	0.9	4.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	813.1	616.9	891.7	340.6	30.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 当連結会計年度においては、事業拡大に伴い長期借入金が増加したことから、有利子負債残高が増加しております。これにより、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオが前連結会計年度と比較して大きく変動しております。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経済環境においては、食品値上げによるお客様の節約志向に加え、原材料価格の高騰や物流費、人件費の上昇等の懸念があり、依然として厳しい状況が続くと予測されます。

このような環境下においても、当社グループは洋菓子及び製菓の両事業を併せ持つという強みを最大限に活かし、グループシナジーの創出による売上と利益の確保につとめてまいります。

各事業別の主な取り組みは次のとおりです。

<洋菓子事業>

洋菓子事業においては、原材料価格の高騰等によるコスト上昇に対応するため、ミルクレープの生産ラインのレイアウト刷新による生産性向上や、省人化による労務費削減をはかり、収益性の改善につとめてまいります。

洋菓子チェーン店においては、VI（ビジュアルアイデンティティ）に基づく既存店の改装に加え、「ぺこちゃんmilkyドーナツ」やカフェ形態の新業態店舗「ぺこちゃんmilkyタイム」の出店、催事への出店を推進し、新規顧客の獲得につとめてまいります。

製品施策においては、「プレミアムショートケーキ」をはじめとするプレミアム製品群の拡売に注力するほか、『Monthly season DREAM STORY』と題し、「夢がつまったとっておきのあまい物語」をコンセプトに、旬の素材を活用したケーキを月替わりで発売し、付加価値の高い製品の提供による売上向上に取り組んでまいります。

広域流通企業との取り組みにおいては、生産性の高い製造ラインを活用した製品や、当社の技術力を活かした製品提案を積極的に行うとともに、北米をはじめとする海外市場への展開を強化し、販路のさらなる開拓につとめてまいります。

レストラン事業では、メニューの改訂やケーキ類の拡販に取り組むとともに、既存店舗の改装を実施し、売上の拡大をはかってまいります。

<製菓事業>

菓子事業においては、カカオ豆をはじめとする原材料価格の高騰等によるコスト上昇に対応するため、主力製品の価格見直しの実施や、ホームパイの生産ラインにおける生産能力の高い設備の導入に加え、これまでに設備投資を行った主力生産ラインの有効活用による稼働率の最大化をはかり、生産性向上につとめてまいります。

製品施策においては、『ホームパイ』の新製品を新規カテゴリーに投入するとともに、テレビコマーシャル等の販売促進活動を積極的に展開し、『カントリーマアム』を含めた既存の大袋ビスケット製品群の一層の売上拡大をはかってまいります。発売75周年を迎えた『ミルキー』については、キャンディ製品に加えてチョコレート製品やビスケット製品等にも同ブランドを冠した新製品を発売し、売上向上につとめてまいります。また、富士裾野工場における天然水事業の推進に取り組むとともに、今期より神戸工場にて開始するグミ製品の製造・販売に注力し、さらなる収益基盤の拡充をはかってまいります。

海外事業の不二家（杭州）食品有限公司においては、中国国内の景気低迷の影響が懸念されますが、主力製品である「ポップキャンディ」を軸に、グミ製品の拡販や業務提携によるキャラクター菓子製品の受注生産に注力し、売上の維持・拡大をはかってまいります。

不二家ベトナムにおいては、2025年11月に竣工した新工場にて『カントリーマアム』等の生産を開始しております。今後は、ベトナム国内及びアジア諸国への販売を通じて、海外事業の成長をさらに加速させてまいります。

<全社共通の取り組み>

上記すべての事業活動において安全・安心な製品の製造・販売にあたり、FSSC22000（食品安全マネジメントシステムに関する国際規格）をはじめとする食品安全衛生管理を事業の基盤として着実に実行するとともに、労働災害ゼロ及び異物混入クレームゼロを目標に、業務に取り組んでまいります。

当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続くと見込まれますが、前記の各施策を着実に実行することで、業績の向上をはかってまいります。

以上により、通期の連結業績は、売上高1,250億円、営業利益32億円、経常利益36億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益21億円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間比較可能性を考慮し、会計基準は日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,371	12,318
受取手形及び売掛金	17,621	19,580
商品及び製品	4,243	4,630
仕掛品	478	618
原材料及び貯蔵品	3,706	4,676
その他	1,158	1,270
貸倒引当金	△173	△175
流動資産合計	35,406	42,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,443	42,315
減価償却累計額	△26,113	△26,943
建物及び構築物（純額）	13,329	15,372
機械装置及び運搬具	66,002	71,240
減価償却累計額	△51,330	△53,521
機械装置及び運搬具（純額）	14,671	17,719
工具、器具及び備品	4,936	5,006
減価償却累計額	△4,112	△4,227
工具、器具及び備品（純額）	824	779
土地	7,390	7,598
リース資産	2,983	3,048
減価償却累計額	△2,084	△2,080
リース資産（純額）	899	967
建設仮勘定	2,793	3,024
有形固定資産合計	39,908	45,461
無形固定資産		
商標権	457	401
ソフトウェア	737	635
その他	474	503
無形固定資産合計	1,669	1,540
投資その他の資産		
投資有価証券	6,858	7,549
長期貸付金	231	213
繰延税金資産	1,216	927
敷金及び保証金	1,998	1,985
退職給付に係る資産	677	1,322
その他	2,625	4,565
貸倒引当金	△126	△120
投資その他の資産合計	13,481	16,444
固定資産合計	55,060	63,446
資産合計	90,466	106,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,493	8,355
短期借入金	3,960	960
リース債務	199	204
未払金	3,112	3,993
返金負債	2,544	2,945
未払法人税等	893	914
賞与引当金	499	534
その他	4,752	5,216
流動負債合計	24,455	23,123
固定負債		
長期借入金	-	15,000
リース債務	564	629
繰延税金負債	255	336
退職給付に係る負債	1,258	292
役員退職慰労引当金	70	74
その他	793	804
固定負債合計	2,943	17,138
負債合計	27,399	40,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	32,339	33,598
自己株式	△17	△17
株主資本合計	54,662	55,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279	545
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	2,003	2,241
退職給付に係る調整累計額	962	1,922
その他の包括利益累計額合計	3,250	4,713
非支配株主持分	5,153	5,470
純資産合計	63,067	66,104
負債純資産合計	90,466	106,366

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	109,984	119,558
売上原価	73,534	80,780
売上総利益	36,450	38,778
販売費及び一般管理費	34,151	35,937
営業利益	2,298	2,840
営業外収益		
受取利息	68	55
受取配当金	67	80
持分法による投資利益	627	676
保険解約返戻金	52	-
雑収入	134	185
営業外収益合計	949	997
営業外費用		
支払利息	12	124
支払補償費	56	-
為替差損	-	30
雑損失	49	73
営業外費用合計	118	228
経常利益	3,130	3,609
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	-	12
関係会社株式売却益	592	548
特別利益合計	593	564
特別損失		
固定資産売却損	0	27
固定資産廃棄損	410	238
減損損失	118	324
投資有価証券評価損	-	0
支払補償費	-	121
その他	82	42
特別損失合計	612	754
税金等調整前当期純利益	3,111	3,419
法人税、住民税及び事業税	1,188	1,276
法人税等調整額	△225	△256
法人税等合計	963	1,020
当期純利益	2,148	2,398
非支配株主に帰属する当期純利益	475	367
親会社株主に帰属する当期純利益	1,672	2,031

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	2,148	2,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	330
為替換算調整勘定	850	316
退職給付に係る調整額	401	959
持分法適用会社に対する持分相当額	34	26
その他の包括利益合計	1,323	1,634
包括利益	3,471	4,032
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,750	3,494
非支配株主に係る包括利益	721	538

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,280	4,060	31,440	△17	53,763
当期変動額					
剰余金の配当			△773		△773
親会社株主に帰属する当期純利益			1,672		1,672
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					-
当期変動額合計	-	△0	899	△0	898
当期末残高	18,280	4,060	32,339	△17	54,662

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	244	-	1,367	561	2,172	4,704	60,640
当期変動額							
剰余金の配当							△773
親会社株主に帰属する当期純利益							1,672
自己株式の取得							△0
連結子会社株式の取得による持分の増減							△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	35	4	636	401	1,077	449	1,527
当期変動額合計	35	4	636	401	1,077	449	2,426
当期末残高	279	4	2,003	962	3,250	5,153	63,067

当連結会計年度(自 2025年 1 月 1 日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,280	4,060	32,339	△17	54,662
当期変動額					
剰余金の配当			△773		△773
親会社株主に帰属する当期純利益			2,031		2,031
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					-
当期変動額合計	-	-	1,258	△0	1,258
当期末残高	18,280	4,060	33,598	△17	55,920

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	279	4	2,003	962	3,250	5,153	63,067
当期変動額							
剰余金の配当							△773
親会社株主に帰属する当期純利益							2,031
自己株式の取得							△0
連結子会社株式の取得による持分の増減							-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	266	△1	238	959	1,462	316	1,779
当期変動額合計	266	△1	238	959	1,462	316	3,037
当期末残高	545	2	2,241	1,922	4,713	5,470	66,104

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,111	3,419
減価償却費	5,170	5,645
減損損失	118	324
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△4
返金負債の増減額 (△は減少)	127	391
受取利息及び受取配当金	△135	△135
支払利息	12	124
持分法による投資損益 (△は益)	△627	△676
固定資産売却損益 (△は益)	△0	24
固定資産廃棄損	410	238
関係会社株式売却損益 (△は益)	△592	△548
支払補償費	56	121
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,090	△1,853
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,731	△1,467
仕入債務の増減額 (△は減少)	361	△161
未払金の増減額 (△は減少)	106	101
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△29	18
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△32	△212
その他	△608	△422
小計	4,618	4,927
利息及び配当金の受取額	294	340
利息の支払額	△11	△104
法人税等の支払額	△583	△1,262
その他	△56	△121
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,260	3,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	853	△57
子会社株式の取得による支出	△16	△31
関係会社出資金の払込による支出	△1,172	△1,890
関係会社株式の売却による収入	909	895
有形固定資産の取得による支出	△6,684	△9,646
有形固定資産の売却による収入	0	508
無形固定資産の取得による支出	△197	△191
敷金及び保証金の差入による支出	△46	△66
敷金及び保証金の回収による収入	91	78
その他	△643	△455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,905	△10,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000	△3,000
長期借入れによる収入	-	15,000
リース債務の返済による支出	△210	△140
配当金の支払額	△770	△771
非支配株主への配当金の支払額	△271	△222
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,746	10,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	133	56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△765	3,845
現金及び現金同等物の期首残高	7,781	7,016
現金及び現金同等物の期末残高	7,016	10,861

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「洋菓子事業」及び「製菓事業」の2つを報告セグメントとしております。

「洋菓子事業」は、ケーキ、ベーカリー、デザート等の洋菓子類の販売と飲食店の運営をしております。「製菓事業」は、チョコレート、キャンディ、ビスケット等菓子類と飲料、乳製品等の販売をしております。

II 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

事業セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

III 前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4, 5, 6	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	24,755	—	24,755	—	24,755	—	24,755
レストラン	6,129	—	6,129	—	6,129	—	6,129
菓子	—	71,286	71,286	—	71,286	—	71,286
飲料	—	4,391	4,391	—	4,391	—	4,391
その他	—	—	—	3,215	3,215	—	3,215
顧客との契約から生じる収益	30,884	75,677	106,562	3,215	109,777	—	109,777
その他の収益	—	—	—	207	207	—	207
外部顧客への売上高	30,884	75,677	106,562	3,422	109,984	—	109,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	374	374	468	843	△843	—
計	30,884	76,052	106,937	3,890	110,827	△843	109,984
セグメント損益(△は損失)	△1,140	7,467	6,326	543	6,869	△4,571	2,298
セグメント資産	24,379	51,110	75,489	3,273	78,763	11,703	90,466
その他の項目							
減価償却費	1,311	3,413	4,725	117	4,843	327	5,170
持分法適用会社への投資額	2,427	—	2,427	—	2,427	2,923	5,351
有形固定資産及び無形固定資 産等の増加額	3,341	5,241	8,582	62	8,644	366	9,010

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。
- 2 セグメント損益(△は損失)の調整額△4,571百万円には、その他の調整額△8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。
- 3 セグメント損益(△は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 セグメント損益(△は損失)の額の算定に含まれておりませんが、取締役会に対して、持分法投資利益が定期的に提供され使用されております。
(洋菓子事業) 627百万円
- 5 セグメント資産の調整額11,703百万円は全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、未収入金及び本社の管理部門に係る資産等であります。
- 6 その他の項目の減価償却費の調整額327百万円は全社費用に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額366百万円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産等であります。

IV 当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4, 5, 6	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	25,506	—	25,506	—	25,506	—	25,506
レストラン	6,332	—	6,332	—	6,332	—	6,332
菓子	—	80,244	80,244	—	80,244	—	80,244
飲料	—	3,823	3,823	—	3,823	—	3,823
その他	—	—	—	3,446	3,446	—	3,446
顧客との契約から生じる収益	31,838	84,067	115,906	3,446	119,352	—	119,352
その他の収益	—	—	—	205	205	—	205
外部顧客への売上高	31,838	84,067	115,906	3,652	119,558	—	119,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	296	297	460	757	△757	—
計	31,839	84,364	116,203	4,112	120,316	△757	119,558
セグメント損益(△は損失)	△937	8,022	7,084	586	7,671	△4,830	2,840
セグメント資産	23,929	62,952	86,882	3,394	90,276	16,089	106,366
その他の項目							
減価償却費	1,446	3,787	5,234	99	5,333	311	5,645
持分法適用会社への投資額	2,272	—	2,272	—	2,272	3,226	5,499
有形固定資産及び無形固定資産等の増加額	1,877	9,570	11,447	55	11,502	115	11,617

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。
- 2 セグメント損益(△は損失)の調整額△4,830百万円には、その他の調整額8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,838百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。
- 3 セグメント損益(△は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 セグメント損益(△は損失)の額の算定に含まれておりませんが、取締役会に対して、持分法投資利益が定期的に提供され使用されております。
(洋菓子事業) 676百万円
- 5 セグメント資産の調整額16,089百万円は全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、未収入金及び本社の管理部門に係る資産等であります。

- 6 その他の項目の減価償却費の調整額311百万円は全社費用に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額115百万円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産等であります。
- 7 2025年7月に一部の子会社で「洋菓子事業」から「菓子事業」に業態変更を行っています。これに伴い、当該子会社で従来「洋菓子事業」に含めていた売上高、セグメント損益、セグメント資産等は業態変更以降は「菓子事業」に含めています。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の売上高の金額が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
32,891	7,017	39,908

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山星屋	11,269	製菓事業及び洋菓子事業

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の売上高の金額が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
38,913	6,547	45,461

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山星屋	12,524	製菓事業及び洋菓子事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	洋菓子事業	製菓事業	計				
減損損失	113	4	118	—	118	—	118

(注) 当社が保有する洋菓子事業の工場及び直営店舗に係わる固定資産や、当社連結子会社が保有する製菓事業に係わる固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失118百万円を計上いたしました。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	洋菓子事業	製菓事業	計				
減損損失	179	0	179	—	179	145	324

(注) 洋菓子事業の減損損失について、当社が保有する洋菓子事業の直営店舗に係わる固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、減損損失を179百万円計上いたしました。なお、減損損失の調整額は共用資産の減損であります。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	2,246.82円	2,352.38円
1株当たり当期純利益金額	64.90円	78.82円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,672	2,031
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,672	2,031
期中平均株式数(千株)	25,775	25,775

(注) 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	63,067	66,104
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	57,913	60,634
貸借対照表の純資産の部の合計額と 1株当たり純資産額の算定に用いら れた普通株式に係る期末の純資産額 との差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	5,153	5,470
普通株式の発行済株式数(千株)	25,784	25,784
普通株式の自己株式数(千株)	9	9
1株当たり純資産額の算定に用いら れた普通株式の数(千株)	25,775	25,775

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

(1)代表者の異動（2026年2月10日付）

代表取締役会長

飯 島 幹 雄

（現 取締役副会長、山崎製パン株式会社 代表取締役副社長、
株式会社東ハト 代表取締役会長）

(2)その他の役員の異動（2026年3月25日付）

①新任取締役候補

取締役

吉 田 修 康

（現 山崎製パン株式会社 常務取締役）

取締役

安 井 泰 宏

（現 常勤監査役）

②退任予定取締役

取締役 経理本部長兼経理本部経理部長

荒 畑 克 也

③退任予定監査役

常勤監査役

安 井 泰 宏

（当社取締役に就任予定）

以 上